

第3回 下水道における放射性物質対策に関する検討会議事概要

○ 第2回の議事要旨について

- ・第2回の議事要旨について了承を得た。

○ 下水処理場における放射性物質の挙動について

- ・下水処理場5箇所の24時間調査の結果をもとに、下水処理場内の放射性物質の挙動を検討した。
- ・第2回検討会でGrabサンプリングの調査結果で報告したのと同様に、無降雨時には、流入した量以上の放射性物質が脱水汚泥に移行しており、下水処理場の生物反応タンク等に保持されている放射性物質は、長期的には減少傾向であることを確認した。
- ・下水汚泥の焼却施設2カ所の排気を調査した結果、排気中の放射性物質は不検出であり、焼却炉における放射性物質の環境中への放出は見受けられなかった。
- ・合流式下水道において、初期降雨時の流入下水中の放射性物質濃度が、晴天時の日平均値と比べて高くなる傾向を確認した。
- ・合流式下水道の下水処理場2カ所の脱水汚泥濃度の経時変化より、脱水汚泥の放射能濃度が減少傾向にあることが確認された。

○ 高放射能濃度の下水汚泥の保管方法等について

- ・高放射能濃度の下水汚泥の保管方法等について、特に放射線遮断に関して、コンクリート構造物等による遮断および隔離距離による減衰による効果について試算をするとともに、放射線監視や管理体制について検討した。

○ その他

- ・中間とりまとめの方向性について検討した。
- ・周辺地域への情報提供について、提供すべき項目と提供手法について検討した。
- ・今後必要な調査について検討した。